

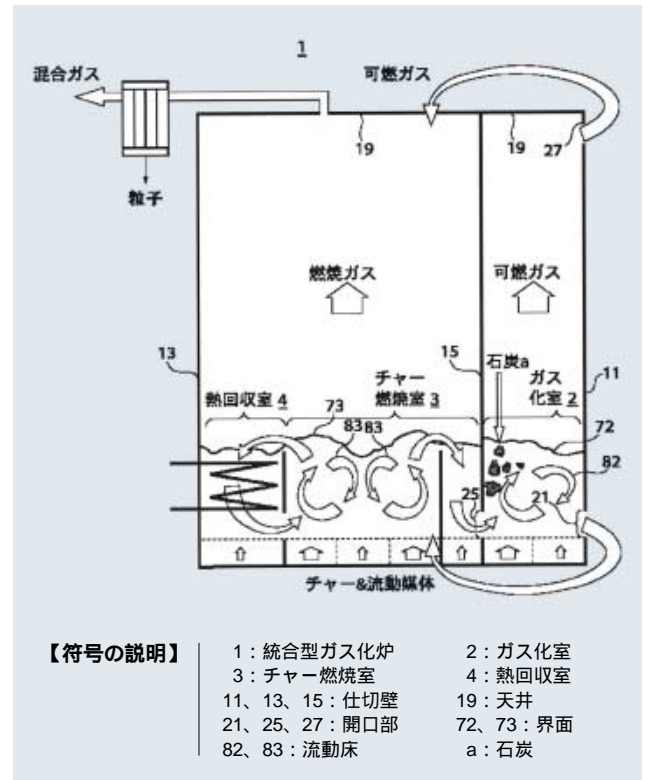
2、チャー燃焼室3、熱回収室4を共存させ、全体を円筒形又は矩形に形成された炉体内に収納し、チャー燃焼室3は、ガス化室2に隣接して一体に形成します。

統合型ガス化炉1では、チャー燃焼室3内の高温流動媒体を熱分解・ガス化の熱源供給の熱媒体としてガス化室2に供給するので、ガス化室2と熱回収室4は互いに接しないように配置するか若しくは仕切壁13によって炉底から天井19に亘って完全に仕切り、更にガス化室2とチャー燃焼室3は、流動床82、83の界面72、73より上方において完全に仕切壁11で仕切ります(但し、開口部27を除く)。

そして、仕切壁11近傍のガス化室2側の流動化状態の強さとチャー燃焼室3側の流動化状態の強さとの相対的な関係を所定の関係に保つことによって、仕切壁15の炉底近傍に設けた開口部25を通じて、チャー燃焼室3側からガス化室2側へ流動媒体を移動させるように構成します。更にガス化室2側からチャー燃焼室3側へチャーを含んだ流動媒体を開口部21を通じて移動させるように構成します。

発明の効果

本発明では、以下の効果を期待できます。
 取り扱い対象となるガス系統数や設備を減少させることができます。
 ガス化室とチャー燃焼室との間に大きな圧力差が生じないので、圧力制御を単純・簡易なものにできます。
 粒子の分離された品質の高い混合ガスをガス供給口からガスタービンに供給することができます。



第1図 統合型ガス化炉の構成図

執筆者 / 八木竜之介
 Yagi.Ryuunosuke@chuden.co.jp

編集部便り

「技術開発ニュース」編集委員メンバー(平成18年7月より)

経営戦略本部 設備・投資計画Gスタッフ部長 横井 克明	広報部 広報企画G長 滝澤 昌宏	燃料部 計画Gスタッフ副長 湯谷 明	販売本部 法人営業部 ソリューションG長 稲垣 透
販売本部 配電部 業務G長 藤井 清美	流通本部 系統運用部 系統技術G長 竹内 昭	工務技術センター 技術G主幹 長谷川 豊	発電本部 火力部 技術G長 釜谷 広志
発電本部 原子力部 計画Gスタッフ副長 嶋田 雅樹	発電本部 土木建築部 技術・企画Gスタッフ課長 神山 博	情報システム部 システム計画Gスタッフ副長 澤田 誠一	電子通信部 技術G長 高田 平二郎
技術開発本部 研究企画G 知的財産Tスタッフ課長 尾山 希久	技術開発本部 電力技術研究所 総括G長 野口 正司	技術開発本部 エネルギー応用研究所 計画G計画TL 倉知 格	

編集部

技術開発本部 研究企画G 総務T副G長 内山 明彦	技術開発本部 研究企画G 総務Tスタッフ副長 中石 京太
---------------------------------	------------------------------------

中電ブランドのホットなニュースをいち早く、
 皆さまへお届けいたします。